

山口県ユニセフ協会が設立されました！

●設立大会を開催し、活動をはじめました。

10月13日(金)、山口県教育会館において、「山口県ユニセフ協会設立大会」および「祝賀会」を開催し、山口県におけるユニセフ活動の拠点として山口県ユニセフ協会が活動をはじめることとなりました。

設立大会には、村岡嗣政山口県知事・渡辺純忠山口市長が来賓としてお見えになられ、今後の県協会活動に対する期待を込めたご祝辞をいただきました。

また設立大会では、「設立趣意書」「県協会規約」「2017年度事業計画および予算」が承認されるとともに、「役員」が選出され県協会としての体制が整いました。

山口県ユニセフ協会会長には、この間、設立準備委員会、引き続き組織した設立発起人会ともに代表を務めていただいた国立大学法人山口大学の岡学長が選任され、顧問2名、理事13名、監事2名、評議員13名で、第一期をスタートさせることとしました。

* 第1期役員詳細は2ページをご覧ください。

なお、山口県は中核都市がなく、人口も分散傾向にあることから、県内を7つの地域(*)に分けてそれぞれに地域事務局を置き、事務局長が県協会全体をまとめる運営体制とすることも確認されました。

* 7地域のおおまかな区分けは岩国・周東・周南・中部・北部・宇部・下関です。

ただし、岩国地域・中部地域・下関地域事務局は不在のままのスタートとなります。

またボランティアもすでに43名の方に登録いただいておりますが、もっと多くの方のご支援が欲しいところです。

ユニセフや世界の子どもたちにご関心のある方は、是非ご連絡いただければと考えています。



【設立大会にご臨席・ご祝辞をいただいた村岡山口県知事】



【協定書授与式(左:日本ユニセフ協会早水専務 右:山口大学岡学長)】

設立大会に引き続き開催された祝賀会では、日本ユニセフ協会と山口県ユニセフ協会の間で、世界の子どもたちの健やかで健全な成長に取り組むユニセフ活動に、ともに力を合わせることを趣旨とする「協力協定書」を取り交わし、ユニセフの名称を用いての活動を認定する「協定証」を県協会として受け取り、今後の活動に向けたすべての環境が整いました。

2017年度は、残り2ヶ月半という短い期間となりますが、県協会設立の初年度ということで、出来る限り多くの方に、山口県におけるユニセフ活動の拠点ができたことを知っていただく取り組みを積極的におこなっていきます。

* 詳しくは今後の活動予定をご覧ください。

また、11月・12月は「ユニセフハンド・イン・ハンド」募金月間にあたります。

”手に手をとって”を意味する「ユニセフ ハンド・イン・ハンド」募金の特色は、事前に登録いただければ誰でもボランティアとして参加できること。

募金活動「ハンド・イン・ハンド」に参加してみたいとお考えの方は、是非山口県ユニセフ協会へご連絡ください。

サポートいたします。

* 県協会の電話番号・メールアドレスは、裏ページでご確認ください。

専用のホームページも開設されています。

パソコンからは、「日本ユニセフ協会・ハンド・イン・ハンド」で検索ください。

<https://www.unicef.or.jp/cooperate/handinhand/>



【設立大会を終えてのご来賓・理事会・スタッフの記念撮影】

山口県 ユニセフ協会 について

- 山口県におけるユニセフ活動の拠点となることを目的に2017年10月13日に設立しました。
山口県ユニセフ協会は、公益財団法人日本ユニセフ協会と「協力協定」を締結し、協定地域組織としてユニセフの趣旨に基づき、ユニセフへの協力活動を推進する独自の任意団体です。

●ご挨拶●



ユニセフは国連の機関として、世界190を超える国と地域で、子どもたちの命と人権、健やかな成長を守る活動をおこなっています。
山口県ユニセフ協会は、このユニセフの活動を支援するため、日本ユニセフ協会賛助会員、支援企業・団体、教育機関、報道機関の皆さまとともに、山口県におけるユニセフ活動の輪をさらに広げてまいりたいと設立いたしました。
一人でも多くの子もたちが笑顔になれるよう、活動して参ります。どうか皆様の温かいご支援をよろしくお願いいたします。

山口県ユニセフ協会会長 岡 正朗（山口大学 学長）

●役員紹介●

役職		所属団体	ユニセフ
顧問	村岡 嗣政	山口県	知事
顧問	渡辺 純忠	山口市	市長
理事	氏名	所属団体	役職
会長理事	岡 正朗	国立大学法人山口大学	学長
副会長理事	長坂 祐二	公立大学法人山口県立大学	学長
副会長理事	金子 光夫	山口県農業協同組合中央会	会長
専務理事	有吉 政博	山口県生活協同組合連合会	会長理事
理事	浅原 司	山口県教育委員会	教育長
理事	原 昌克	山口県社会福祉協議会	会長
理事	池内 英之	山口県国際交流協会	専務理事
理事	市川 熙	日本ボーイスカウト山口県連盟	理事長（光市長）
理事	中繁 尊範	一般社団法人山口県労働者福祉協議会	会長
理事	平岡 英雄	株式会社西京銀行	代表取締役頭取
理事	齋藤 宗房	株式会社 t y s テレビ山口	社長
理事	石井 伸司	中国新聞社	防長本社代表
理事	岡崎 悟	生活協同組合コープやまぐち	理事長
監事	氏名	所属団体	役職
監事	中野 勉	中野会計事務所	代表（公認会計士）
監事	正木 圭子	正木税理士事務所	代表（税理士）
評議員	氏名	所属団体	役職
評議員	山崎 伸介	山口県中学校長会	会長
評議員	田中 邦明	山口県小学校長会	会長
評議員	相本 艶子	山口県女性団体連絡協議会	会長
評議員	桑原 望	桑原社会保険労務士事務所	所長
評議員	杉山 美羽	特定非営利活動法人 あっと	代表理事
評議員	末永 明典	深川養鶏農業協同組合	代表理事組合長
評議員	辻村 芳樹	株式会社シーサット	代表取締役社長
評議員	井上 守	松月堂製パン株式会社	代表取締役社長
評議員	潮 貞男	大村印刷株式会社	代表取締役社長
評議員	藤村 周介	株式会社ブンシジャパン	代表取締役社長
評議員	河口 浩己	やまぐち県酪乳業株式会社	常務取締役
評議員	吉光 靖文	山口県共済生活協同組合	専務理事
評議員	馬場 康彰	医療生活協同組合健文会	専務理事
事務局長	高木 直哉	山口県生活協同組合連合会	専務理事

活動報告

◆10月13日に設立したばかりのため、報告できる活動はわずかですが、次号はたくさん報告させていただく予定です。

楽しみにお待ちしております！



■ユニセフパネル展

「ユニセフによる戦後日本の子どもたちへの支援」と「タンザニアの栄養プログラム」開催しました。

2017/10/19(金)・20(土)

～コープやまぐちこと宇部店横「あいあい館」にて開催～
宇部市では初のパネル展。ユニセフ活動をより身近に感じていただこうと、「ユニセフによる戦後日本の子どもたちへの支援」を選び、展示しました。

日本も戦後まもなくの1949年から、東京オリンピックが開催された1964年までの15年間、学校給食用の脱脂粉乳をはじめとするユニセフからの支援を受けました。

ちょうど、小学校給食でこのミルクをいただいて大きくなった60～70歳の方からは、「懐かしいねえ～!」「ユニセフの支援だったってしらなかったあ～」など、昔を懐かしむ声がたくさん聴かれました。



【熱心にパネルを見ていただく来場者のみなさん】



←
【ネパールの子どもたちが使う水がめ。マラリア蚊を防ぐ蚊帳等もパネルに合わせて展示】

【子どもたちの栄養状態を測る簡易メジャー】



ただ残念ながら今も、過酷な環境で生存の危機にある子どもたちが、世界にはたくさんいること、その子どもたちの命と人権を守るためのユニセフの取り組みをお伝えしました。

そのユニセフの取り組みのひとつとして、「タンザニアの栄養プログラム」のパネル展も同時開催しました。

子どもたちの腕回りの太さを測り、栄養状態を調べる簡易メジャーで、栄養不良の状態（腕回り11.5cm以下）の輪を作って実際に見ていただくと、その細さに皆さんビックリされていました。

また、チベットで子どもたちの仕事となっている水汲みに使う「水がめ」をかかえていただく体験コーナーなど、児童労働の現実も知っていただきました。

パネルやユニセフ活動について説明をさせていただいた後、「何かお手伝いしたい。」とボランティア登録を申し出られた方。「山口県にユニセフ協会ができて新聞で知って来ました。」と、仕事の合間を縫って募金に来られた方。山口県ユニセフ協会が発足して初めての活動で、少し不安もありましたが、スタッフの全員が来場者の皆さんから元気をいただき、これからの活動も頑張って取り組もう！と感じることができたパネル展となりました。

お近くでユニセフの催しをおこなう時には、是非おこしください。

*今後の取り組み予定は4ページをご覧ください。



【子どもたちもユニセフのビデオを熱心に観てくれました】

●ご支援をお願いします。

ロヒンギャ難民緊急募金

ロヒンギャ難民の子どもたちをご支援ください



2017年8月25日以降、暴力から逃れるために、ミャンマーのラカイン州からバングラディッシュに逃れてきたロヒンギャ難民は50万人以上。その6割を占める30万人以上の子どもたちが今、危険にさらされています。

■ゆうちょ銀行 募金口座

振替口座:00190-5-31000

口座名義:公益財団法人 日本ユニセフ協会

・通信欄に「ロヒンギャ」「K1-350山口県」と明記願います。

・窓口での振り込みの場合、送金手数料が免除されます。

(公財)日本ユニセフ協会Hpより

ご存知 でしたか？

●「長谷部誠」日本ユニセフ協会大使

現役のプロサッカー選手として世界の舞台で活躍されている長谷部選手が、飛行機の機内で手に取られたユニセフの封筒をきっかけに、ユニセフ・マンリースポーターとなられたのは2007年。

以降、公共CM出演や自身の公式ホームページを通じた寄付の呼びかけや東日本大震災被災地の子どもたちへの支援などを通して、ユニセフの活動を応援してくださっています。(2016年12月24日 日本ユニセフ協会大使に就任)



* (公財) 日本ユニセフ協会ホームページより

【今後の活動予定】

■ユニセフパネル展 「長谷部誠選手が見た、感じた「レジリエンス」(入場無料)

- 2004年のインドネシア・スマトラ島沖地震の被災地インドネシアのバンダ・アチュを、長谷部選手が訪問し、史上最大の規模で展開された緊急支援とその後の復興支援の成果を視察した様子をパネル紹介。

場所：西京銀行本店 (周南市平和通1丁目10番の2)

期間：11/16(木)～11/22(水) ※但し18日・19日はお休みです 開場時間:9:00～15:00

■ユニセフパネル展 「ユニセフによる戦後日本の子どもたちへの支援」(入場無料)

- 戦後日本もユニセフから様々な支援を受けました。今も世界の子どもたちの健やかな成長を支援するユニセフ活動の意義を感じていただけるパネル展です。

場所：西京銀行周南支店 (周南市平和通1丁目10番の2)

期間：11/16(木)～11/22(水) ※但し18日・19日はお休みです 開場時間:9:00～15:00

■コープやまぐち岩国センターまつり「ユニセフ活動紹介コーナー出展」(入場無料)

- 世界の子どもたちの現状やユニセフ活動について多くの方に知っていただくため、コーナー出展をおこないます。当日は、チベットの子どもたちが使う真鍮製の水がめやマラリア予防の蚊帳など、様々な展示も予定しています。

場所：コープやまぐち岩国センター(岩国市南岩国町3丁目7-61)

期間：11/18(土) 開場時間:9:00～14:00

■柳井まつり「ユニセフ活動紹介コーナー出展」(入場無料)

- 世界の子どもたちの現状やユニセフ活動について多くの方に知っていただくため、コーナー出展をおこないます。当日は、チベットの子どもたちが使う真鍮製の水がめやマラリア予防の蚊帳など、様々な展示も予定しています。

場所：アクティブやない(柳井市柳井3718-16)

期間：11/23(木・祝) 開場時間:9:00～15:00

賛助会員募集！

日本ユニセフ協会と各協定地域組織の活動を賛助会費によって支援いただく方法です。

現在山口県でも多くの賛助会員の方にご協力いただいています。

山口から世界の子どもたちを支えましょう！

種類	対象	賛助会費
一般賛助会員	個人	一口 5,000円
学生賛助会員	学生(18歳以上)	一口 2,000円
団体賛助会員	団体、法人、企業	一口 100,000円

賛助会員期間は、入会日より1年間です。賛助会費は寄付金控除の対象になります。

一般・学生賛助会員は個人でのお申込みに限らせていただきます。

いつでもボランティア大歓迎！！

ユニセフや世界の子どもたちに関心のある方はもちろんあなたの好きなことをユニセフ活動にいかしてみませんか？

♪ 絵や文章を書くのが好きな方

♪ 子どもが好きな方

♪ 手作りするのが好きな方

♪ パソコンが得意な方

♪ 学習会の組み立てを一緒に考えてくれる方

などなど



山口県ユニセフ協会

〒753-0083

山口市後河原210番地

TEL083-902-2266

FAX083-928-5416

E-mail: info@unicef-yamaguchi.jp

URL: https://www.unicef-yamaguchi.jp



ボランティア登録、資料請求、その他お問い合わせ等は、事務局までご連絡ください。

また、どなたでもお気軽にお立ち寄りください。

受付日：月・火・水・木・金

受付時間：10:00～16:00

山口県教育会館の裏になります。